

こんにちは 日本共産党府議会議員
さこ祐仁 議会報告



「提言」 京都懇談会 志位委員長が報告 4月7日

野田佳彦首相が消費税増税法案の今国会成立に「政治生命をかける」と大増税に突き進む中、「消費税に頼らない道がここにある」と訴える日本共産党の志位和夫委員長。京都市内で7日、「社会保障と経済・財政の立て直し」をめざし、政府の姿勢と対照的な懇談会が京都市東山区のウエスティン都ホテルで開かれました。

懇談会には医療・福祉関係者、中小企業・商工団体、建設業界、街の社長、学者・文化人、自治体関係者、労組・民主団体の代表など約470人が参加、民主党支持者だった人、自民党の支持基盤だった業界団体の幹部の姿もみられました。

志位委員長は、政府の「社会保障と税の一体改革」について、「13・5兆円もの大増税計画。社会保障と経済を壊し、財政を破たんさせるもの」と厳しく批判し、その上で、日本共産党が「一体改革」の対案としてまとめた「社会保障充実と財政危機打開の提言」のポイントを説明。「社会保障の段階的充実」と「国民所得を増やす経済改革」を同時並行で進め、税制では「応能負担」を貫き、こうした改革によって、10年後には名目成長率2・4%を実現し、民主的経済改革による税収自然増を含め40兆円規模の財源を生み出せるとして、消費税大増税に頼らなくても、財政危機を打開している展望を語りました。

懇談では、西陣織工業組合の役員は「組合員数はピーク時の4分の1。西陣織は危機的状態。消費税とTPP（環太平洋連携協定）反対は組合員の声だ」と強調し、組合内には「共産

党に政権をとってほしいという思い」もあると述べ、「外交政策も含めた全体のビジョンも示してほしい」と要望されました。
建築事務所代表は「能力に応じた負担」の原則は「ぜひ実現してほしい」と発言。大型公共事業や軍事費の削減については「保守の人も納得できる丁寧な説明をしてほしい」と要望されました。

「出席者の顔ぶれを見て、自民党国会議員が顧問を務める団体の方も来られていて驚いた」（京都府電気工事工業協同組合）との声もありました。

小売協同組合の理事長は「消費税増税をストップし、京都の会社が利益を出し、その利益で社会貢献したい。京都の力で共産党の票を増やしたい」と期待の声を述べられました。
開業医は「医療費の窓口負担を引き下げるといふ提言は私たちの運動と同じ。心強い。どう実現していくかともに考え合いたい」と述べました。

閉会あいさつで志位氏は、削れる大型事業や軍事費の具体的な事例をあげるなど、参加者の質問の一つ一つに丁寧に回答。「『提言』は国民の声が広がれば実現可能なものです。「五十数%から60%の国民は消費税増税に反対です。多数の声はわれわれにあります。消費税に頼らない道がここにあると訴えれば、この声は強くなり、広がっていきます。そうした大きな流れができればこの『提言』を実行する道が開けてきます。何としても増税を止めましょう」と呼びかけられ、参加者から大きな共感の拍手が起こりました。



報告している志位和夫委員長

第21回桜まつり 4月8日 仲よし広場にて



第8回堀川まつり 各学区自治会の役員のみな様ご苦労様でした

